

令和5年度



NO.10 R6.2



幼児教育センターだより



富山県教育委員会小中学校課

第2回市町村幼児教育担当者連絡協議会

【日 時】令和6年1月26日（金）10:00～11:30 オンライン

【参加者】市町村幼児教育担当者 15名

【内 容】富山県幼児教育センターの取組について

市町村における幼小接続の取組の状況と課題について



<各市町村の幼小接続の状況>

- A 町：月1回、所長・校長会を開催
- B 市：訪問研修に小学校からの参加が増加
- C 市：市独自の接続カリキュラムあり
- D 市：市で幼小合同研修会を年2回開催

<課題>

- ・市町村教育委員会、小学校との連携
- ・気になる子どもについての情報交換が幼小接続だという誤解
- ・「幼児教育施設では楽しく遊んでいるだけ」という小学校側の誤解

この協議を生かし、来年度は幼小接続の取組を市町村主体のものに移行していく準備の年となるよう、進めていく予定です。

幼児教育推進リーダー育成研修 修了証交付



【日 時】令和6年1月17日（水）14:00～14:30

【参加者】幼児教育推進リーダー育成研修受講者7名

【内 容】修了証の交付と研修の振り返り



訪問研修では、保育への熱い思いや試行錯誤する努力、子どもに臨機応変に対応する大切さ、子ども理解の素晴らしさ等を若い保育者から学んだ。

訪問研修では、保育者にとって「安心できる存在」でありたい。園・所内の風通しをよくできる訪問者になることを目標に取り組みたい。

～修了生の声～

保育者の悩みや課題を受け止め、更に前向きになれるよう、心に残る温かい言葉をかけていきたい。そのためにも現場の声に耳を傾ける努力と自己研鑽を続けたい。

これまでは保育者の思いや悩みに対し、熱心に助言を返し「支えてあげなければ」という思いが強かった。今後は寄り添う気持ちで関わるように努めたい。

第5回幼児教育アドバイザー研修会 兼 第6回幼児教育推進リーダー育成研修会 兼 第3回幼児教育推進リーダーフォローアップ研修会

【日 時】令和6年1月17日（水）14:30～16:10 オンライン

【参加者】幼児教育スーパーバイザー、幼児教育アドバイザー、幼児教育推進リーダー
幼児教育推進リーダー育成研修受講者 幼児教育関係者のうち希望者

【内 容】武蔵野東第一・第二幼稚園 園長 加藤 篤彦 先生による講演
演題：保育者に気付きを促す支援の在り方

〈研修を通して〉

- ・公開保育をする重要性に気付いた。
- ・子どもだけでなく、保育者も主体的に頑張っていきたいと勇気づけられた。
- ・日頃、保育者からの働きかけが多くなりがちだが、子どもがどのようなことに気付いて、試しているのかなど、よく見ていくことの大切さを改めて感じた。子ども理解について職員と話し合っていきたい。
- ・園の中で我々保育者が自ら働きかけ、何事においても「人任せにしない、責任ある行動」が大切だと分かった。

〈推進リーダーとして〉

- ・様々な形態の施設が「みんなで手を携え、互いに力を合わせる」という心持ちで幼児教育の質の向上を図っていく大切さを痛感した。
- ・訪問先の保育者とつながることが嬉しいと思う心持ちで訪問し、「相手に寄り添い、知ろう」「共に考え互いに学び合う」という姿勢を忘れずにいたい。それが自園のよさや弱みにつながることを意識し、自分自身の学びにしていきたい。



令和5年度

「わくわく・きととき」接続ガイド～改訂版～ 完成

令和6年度の小学校の教科書改訂に伴い、単元名等の見直しをした『幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して「わくわく・きととき」接続ガイドー改訂版ー』が完成しました。

「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」（10の姿）を手掛かりに保育者と小学校教員が子どもの学びや育ちを共有することができるよう、事例をもとに紹介しています。また、遊びの中に見られる幼児期の学びと育ちが、どのように小学校での学習につながっていくのかを示しています。

皆様のお手元には、2月中にお届けの予定です。幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の取組にご活用ください。



令和5年度訪問研修

終了



1月19日（金）の富山市立愛宕保育所の訪問にて今年度の訪問研修を無事終えることができました。参加して下さった園・所の皆様、ありがとうございました。

令和6年度は43施設から希望をいただいています。複数回研修の実施、幼小接続に関して小学校への声かけ、アンケートの充実等、令和5年度の取組を振り返り、これまで以上に参加して下さる先生方の「明日の保育へ元気が出る」研修を目指します。

